

整備状況

凡例

- : 開通済 (有料・4車線)
  - - - : 開通済 (有料・暫定2車線)
  - : 開通済 (無料・2車線) (暫定2車線含む)
  - : 事業中
  - : 一般国道
  - : 未事業化区間
  - : 主なIC
  - ⚓ : 重要港湾
- ※事業中区間のICの名称は一部仮称

■ 四国8の字ネットワーク



四国8の字ネットワーク整備率  
※R5.4.1時点  
**高知県 61%**  
(四国 76%)

安全・安心な暮らしを支え、地域経済の活性化に不可欠な四国8の字ネットワークの整備は急務

1 計画段階評価完了区間の早期事業化

四国横断自動車道：宿毛和田～宿毛新港  
阿南安芸自動車道：奈半利～安田

2 事業中箇所の早期開通

四国横断自動車道：窪川佐賀道路、佐賀大方道路、大方四万十道路、宿毛内海道路  
高知東部自動車道：南国安芸道路  
阿南安芸自動車道：海部野根道路、野根安倉道路、奈半利安芸道路、安芸道路、北川道路1工区及び北川道路2-2工区

3 「高速道路における安全・安心基本計画」に基づく暫定2車線区間の4車線化の着実な実施

高知自動車道：土佐PA～須崎東

切迫度の高まる南海トラフ地震に備えるためにも、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等によるミッシングリンク解消、ダブルネットワーク構築が不可欠

高速道路の延伸を見据えたまちづくり「南海トラフ地震に備える」

●高台への防災拠点の整備(宿毛市)

**E56 四国横断自動車道**  
「宿毛和田～宿毛新港」都市計画決定ルート

国、県、市が連携し、津波浸水の影響を受けない高台へ移転

- 令和4年3月：きぼうが丘保育園開園
- 令和4年5月：宿毛市役所新庁舎開庁

●防災拠点整備状況

- ：開通済
- ：事業中
- ：未事業化区間
- ：防災拠点
- ：防災拠点以外

津波による長期浸水想定区域

宿毛海上保安署 (1次防災拠点港)

令和4年2月撮影

●防災機能を有する道の駅の整備(田野町)

**E55 阿南安芸自動車道**  
「奈半利～安田」ルート帯

防災機能を有する「道の駅」へ強化・拡張

- 令和5年度：基本構想着手予定

津波浸水想定区域

令和4年11月撮影

●移動式応急仮設住宅の備蓄拠点(大豊町)

国内最大の備蓄拠点

ICに近接した位置で備蓄

8の字ネットワークの活用により  
四国の被災地へ迅速な供給が実現

令和4年11月撮影

8の字整備 防災拠点の整備と高速道路の延伸により、地域の防災力が向上

暫定2車線区間の4車線化は「安全性、信頼性を高める」

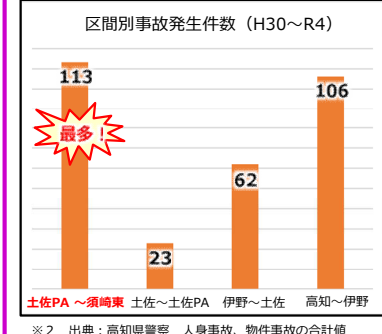
●暫定2車線区間の課題(事故の多発、並行現道の通行止め)

- ：開通済 (有料・4車線)
- ：開通済 (有料・暫定2車線)
- ：開通済 (無料・2車線)
- ：一般国道

【国道56号】

- ・降雪による上下線通行止発生 (約21時間)
- ・一時、車100台以上が立ち往生

令和4年12月



●4車線化による効果(被災6日後から対面通行による通行再開)

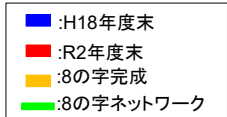


4車線化 ・高速道路における死傷事故の防止に寄与 ・災害時におけるネットワークの代替性を確保

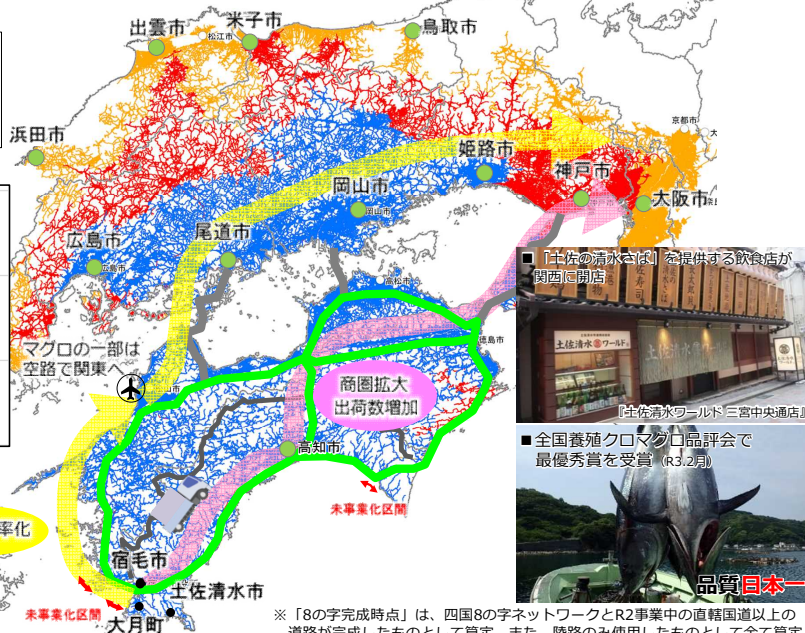
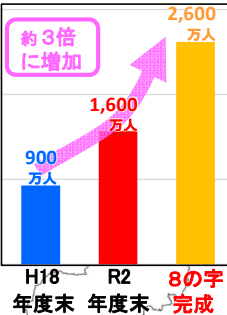
**消費圏拡大** 関西などの大規模消費圏への輸送を支える

■宿毛市からの消費圏域（6時間圏域）の拡大

●消費圏域の変化



●消費圏域人口の推移



※「8の字完成時点」は、四国8の字ネットワークとR2事業中の直轄国道以上の道路が完成したものと判定。また、陸路のみ使用したものと判定。R2年度、8の字完成時の人口は、H27年国勢調査結果により算定。

**水産業と8の字延伸**

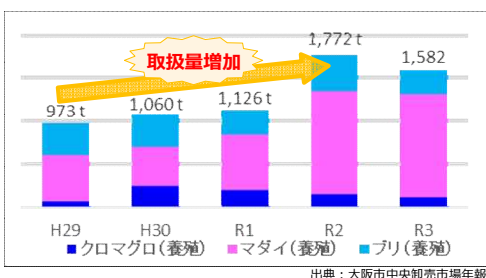
●遠方への活魚輸送に不可欠な高速道路（高知自動車道）



●地元漁業関係者の声（宿毛市）

- ・マグロの一部は空路で関東へ出荷。マダイの一部は輸送の効率化のため、愛媛県産と併せて出荷しています。
- ・また、四国の西部地域は距離的ハンデから朝早く出発する必要があり、十分な水揚げ量がある場合でも、出荷準備する時間が足りません。
- ・8の字ネットワークの延伸により輸送の効率化が図られ、出荷準備に費やす時間が増えることで出荷数の増加につながります。

●県産養殖魚取扱量の増加（大阪市中央卸売市場）



出典：大阪市中央卸売市場年報

●県産農水産物の合同フェア（あべのハルカス近鉄本店）

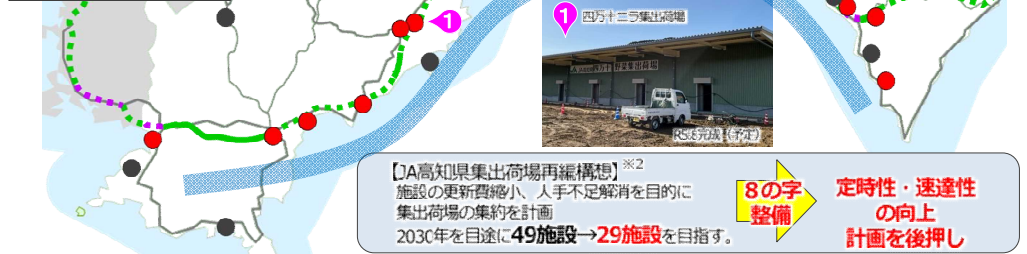
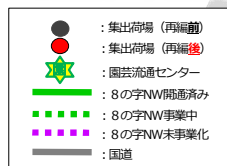


8の字の整備 産業活動の効率性・安全性が向上し、地域経済の活性化に貢献

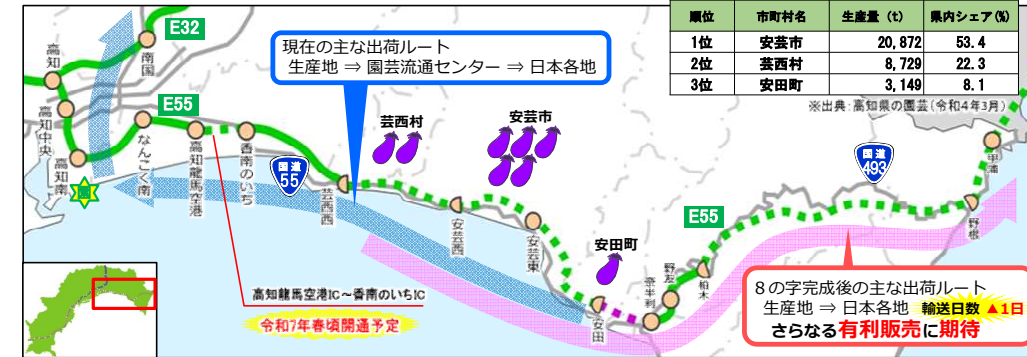
**輸送効率化** 8の字沿線に集出荷場を再編中

■「園芸王国高知」の輸送を支える

●輸送ルートと集出荷場位置



●ルートの見直しによる輸送時間の短縮



**8の字延伸の効果** 開通済み区間で地域産業が活性化！！

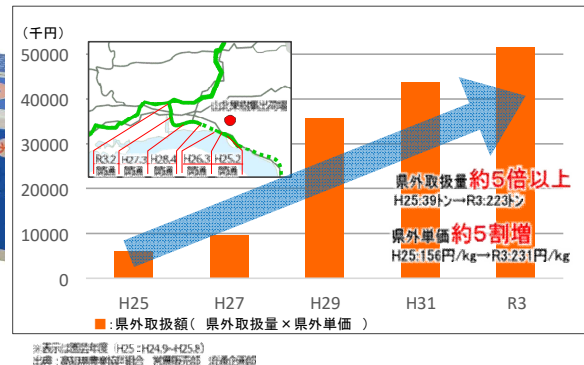
■県産ミカンの県外販路拡大

●山北ミカン（香南市）

県外取扱量・単価上昇中！！

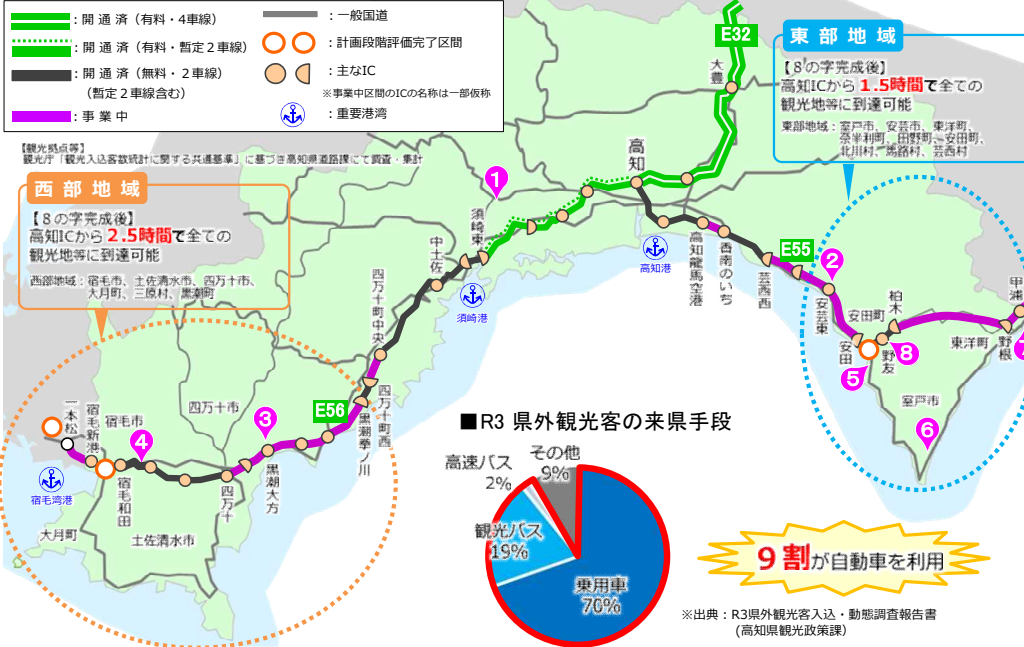


●山北ミカンの県外取扱額



※表示は前年比 (H25:H24.9-H25.8) 出典：高知県農業協同組合 農業販売事業本部 流通企画部

高知県の観光 アフターコロナ時代の観光振興を支える



●高知県観光博覧会「牧野博士の新休日」を県下で展開中

連続テレビ小説放送中!

高知県出身の植物分類学者 牧野富太郎

牧野富太郎 (1862-1957) 主な功績

- ◆「植物学雑誌」を創刊
- ◆1,500種類以上の植物を命名
- ◆「牧野日本植物図鑑」を刊行
- ◆文化勲章受章 など

らんまんの舞台・高知 牧野博士の新休日

Dr. Makino's New Holiday in KOCHI

R5年3月25日(土)~R6年3月31日(日)

●経済活力が高まる関西圏との経済連携強化

大規模プロジェクトに向けて高まる関西圏の経済活力

- ◆R7大阪・関西万博 想定来場者数：2,820万人
- ◆大阪IR(R11開業予定) 想定年間来場者数：2,000万人

EXPO 2025

関西圏からの観光客入込数

77万人 ... 121万人

R2 ... R5目標

※出典：高知県関西・高知経済連携強化戦略ver.2(高知県産地消・外商課)

●経済連携強化に向けた取り組み

- 関西圏アンテナショップ(大阪府)
- 大阪体育大学との連携(R4.3協定締結)

スポーツツーリズムの誘致拡大 スポーツを通じた交流人口の拡大を支える

●スポーツ関連イベントによる県外からの来客数(合宿、観客・参加者数)

H26 → R1 来県者数 約2倍 (5.1万人 → 9.8万人)

※県スポーツ課調べ

コロナ禍から回復の兆し (R2: 4.0万人, R3: 1.1万人, R4: 5.1万人)

●スポーツ合宿団体の発地内訳

地域	割合
関西	51%
四国	20%
中部	16%
中国	9%
関東	4%

半数が関西圏から来高

●高速道路を使い倒す地域活性化

ロードレースコースの一部に「中村宿毛道路」を使用

プロレースで日本初!

R5大会開催決定!!

●受入施設の整備 土佐西南大規模公園(黒潮町)

グラウンド 利用状況

自然・体験型観光による誘客拡大 “高知の強み”を生かした誘客を支える

●県内主要観光施設利用実績の推移

H26 ... R1 (326万人) ... R2 (214万人) ... R3 (216万人) ... R4 (266万人)

順調に推移

コロナ前の8割まで回復!

●5 県内初オールインクルーシブのマリンアクティビティ施設 (R4.4 RENEWAL! 奈半利町海岸センター)

●6 地元ガイドによるジオパークツアー (室戸岬コスコ世界ジオパーク)

●7 四国最大級の海上アスレチック「BEACH HOPPING」 (白浜海岸(東洋町))

●8 世界で唯一「モネの庭」の名称を正式に譲り受けた庭園 (R4来客数 8.8万人 モネの庭(北川村))